



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 7 月 25 日

上場会社名 ピープルスタッフ株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 2324 URL <http://www.peoplestaff.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 三吉彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐々木 邦子 TEL(052)953-5339

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

### (1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	7,790	( 5.2)	285	( 14.6)	288	( 13.6)	165	( 14.1)
19 年 3 月期第 1 四半期	7,406	(10.0)	333	( 30.5)	334	( 28.1)	192	( 28.7)
(参考)19 年 3 月期	30,104		1,123		1,123		620	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	4,162	03		
19 年 3 月期第 1 四半期	4,726	62	4,722	33
(参考)19 年 3 月期	15,280	52	15,253	09

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	銭	百万円	銭	%	円	銭	
20 年 3 月期第 1 四半期	7,724		3,726		48.2	93,595	94	
19 年 3 月期第 1 四半期	6,953		3,536		50.9	86,687	50	
(参考)19 年 3 月期	7,772		3,694		47.5	92,804	63	

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	銭	百万円	銭	百万円	銭	百万円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	31		24		23		2,442	
19 年 3 月期第 1 四半期								
(参考)19 年 3 月期	938		234		346		2,523	

(注) 平成 19 年 3 月期第 1 四半期のキャッシュ・フローは作成してありません。

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金
(基準日)	第 1 四半期末
20 年 3 月期第 1 四半期	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中 間 期	15,250	3.3	550	1.3	547	0.5	313	3.3	7,862	35
通 期	31,600	5.0	1,150	2.3	1,145	2.0	655	5.6	16,453	15

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資や雇用は依然増加しており、景気は引き続き緩やかな拡大傾向で推移いたしました。

その中でも当社が事業基盤を置く中部地区経済は一際好調で、企業の正社員雇用の拡大や競争の激化から有効求人倍率は全国的にみても極めて高い水準となりました。

このような状況のもと、当社主力の一般派遣事業におきましては、人材不足への対応策として短時間・短期間労働を推進するショートJOBサービスを開始いたしました。また、当第1四半期における新規登録者数は昨年11月に名古屋駅前に開設いたしましたミッドランドスクエア支店の効果もあり、前年同期比13.0%増となりました。その他、6月に滋賀支店を開設し営業エリアの拡大を図りましたが、一般派遣事業の売上高は、前会計年度下期に流通事業をはじめ、一般派遣事業から専門事業へ移管した売上高もあり、62億69百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

一方、当社が注力している付加価値の高い専門事業(エンジニアリング事業、製造事業、マーケティング事業、医療福祉事業、流通事業)に関しましては、全ての事業におきまして前年同期を上回る結果となり、専門事業全体で売上高は13億97百万円(前年同期比61.8%増)となりました。

人材紹介事業に関しましては、今期より豊橋、四日市、岐阜の当社既存拠点に専任のコンサルタントを配置し、業績の拡大に努めました。しかしながら、当会計年度においては、民間委託業務の受託を過度の値下げ競争を懸念して見送ったため、売上高は40百万円(前年同期比18.2%減)となりました。

販売費及び一般管理費に関しましては、今後の積極的展開に備え、人員の採用を前倒しで行い優秀な人材の獲得に努めた結果、11億64百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

以上の結果、売上高は77億90百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益は2億88百万円(前年同期比13.6%減)、四半期純利益は1億65百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期の財政状態は、総資産は77億24百万円となり、前会計年度末と比較して47百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は62億88百万円となり、前会計年度末と比較して18百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の80百万円の減少と、受取手形及び売掛金の15百万円、前払費用の24百万円の増加等であります。固定資産は14億35百万円となり、前会計年度末と比較して28百万円の減少となりました。

負債の部では流動負債は36億33百万円となり、前会計年度末と比較して91百万円の減少となりました。これは未払費用の68百万円、未払法人税等の1億47百万円、賞与引当金の1億13百万円の減少と短期借入金1億円、未払消費税等の75百万円、預り金54百万円の増加が主なものであります。

純資産の部は、利益剰余金 26 百万円の増加から 37 億 26 百万円となり、前会計年度末と比較して 31 百万円増加しました。以上の結果、自己資本比率は 48.2%と 0.7 ポイント改善しました。

#### キャッシュフローの状況

当第 1 四半期における各キャッシュフローの状況は以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュフロー)

税引前四半期純利益が 2 億 88 百万円、賞与引当金減少額が 1 億 13 百万円、法人税等の支払額 2 億 51 百万円等により、31 百万円の減少となりました。

##### (投資活動によるキャッシュフロー)

有形固定資産の取得による支出が 12 百万円、無形固定資産の取得による支出が 7 百万円等により 24 百万円の支出となりました。

##### (財務活動によるキャッシュフロー)

短期借入れによる収入 1 億円、配当金の支払額 1 億 23 百万円により 23 百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の減少額は 80 百万円となり、当第 1 四半期における現金及び現金同等物は 24 億 42 百万円となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

今後の我が国経済は、企業業績は好調を維持し、引き続き景気は回復基調で推移するものと予想されます。また、少子高齢化や団塊世代の退職による労働力人口の減少により、企業の人材需要はますます増加していくものと思われます。一方で、当社での人材の確保に関しましては、企業の正社員募集の拡大に加え、競合他社との競争激化により、一層難しくなってくるものと予想されます。

そのような中、当社業績はほぼ予想どおりに推移しており、平成 19 年 5 月 21 日に発表しました平成 19 年 3 月期決算短信（非連結）での業績予想と変更はありません。

### 4. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算方法

四半期会計期間に係る税金費用については、税引前四半期純利益を基礎として算出される四半期会計期間の負担すべき税額を計上しております。

5.(要約)四半期財務諸表

(1)(要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期末	前年同四半期末	増 減		(参考)前期末
	(平成20年3月期 第1四半期末)	(平成19年3月期 第1四半期末)	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
1 現金及び預金	2,532	1,993	538		2,613
2 受取手形及び売掛金	3,485	3,294	191		3,470
3 貯蔵品	23	23	0		23
4 前払費用	78	71	6		54
5 繰延税金資産	142	127	14		142
6 その他	26	33	6		5
貸倒引当金	0	0	0		0
<b>流動資産合計</b>	<b>6,288</b>	<b>5,543</b>	<b>745</b>	<b>13.4</b>	<b>6,307</b>
<b>固定資産</b>					
<b>1 有形固定資産</b>					
(1)建物	131	128	3		132
(2)車輛運搬具	29	22	6		26
(3)器具備品	85	94	8		91
(4)土地	3	3			3
<b>有形固定資産合計</b>	<b>249</b>	<b>249</b>	<b>0</b>	<b>0.2</b>	<b>253</b>
<b>2 無形固定資産</b>	<b>235</b>	<b>203</b>	<b>31</b>	<b>15.6</b>	<b>250</b>
<b>3 投資その他の資産</b>					
(1)投資有価証券	143	163	20		134
(2)差入保証金	359	369	10		374
(3)繰延税金資産	153	141	12		156
(4)施設利用会員権	70	70			70
(5)長期性預金	210	200	10		210
(6)その他	13	13	0		13
貸倒引当金	0	1	0		0
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>950</b>	<b>957</b>	<b>6</b>	<b>0.7</b>	<b>960</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,435</b>	<b>1,410</b>	<b>25</b>	<b>1.8</b>	<b>1,464</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,724</b>	<b>6,953</b>	<b>771</b>	<b>11.1</b>	<b>7,772</b>

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期末 〔平成 20 年 3 月期〕 第 1 四半期末	前年同四半期末 〔平成 19 年 3 月期〕 第 1 四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
1 短期借入金	100	100			
2 未払金	159	120	39		157
3 未払費用	2,222	1,939	282		2,290
4 未払法人税等	128	147	19		275
5 未払消費税等	360	344	16		284
6 預り金	528	303	224		473
7 賞与引当金	125	129	4		238
8 その他	8	5	3		3
<b>流動負債合計</b>	3,633	3,090	543	17.6	3,725
<b>固定負債</b>					
1 役員退職慰労引当金	186	176	9		184
2 退職給付引当金	178	149	28		168
<b>固定負債合計</b>	365	326	38	11.8	352
負債合計	3,998	3,416	581	17.0	4,077
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
1 資本金	702	683	18		702
2 資本剰余金	692	673	18		692
3 利益剰余金	2,592	2,138	453		2,566
4 自己株式	301		301		301
<b>株主資本合計</b>	3,685	3,496	189	5.4	3,659
<b>評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券評価差額金	40	40	0		35
<b>評価・換算差額等合計</b>	40	40	0	0.3	35
純資産合計	3,726	3,536	189	5.3	3,694
負債、純資産合計	7,724	6,953	771	11.1	7,772

ピープルスタッフ(株) (2324) 平成20年3月期第1四半期財務・業績の概況

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)前期末
	〔平成20年3月期〕 第1四半期	〔平成19年3月期〕 第1四半期	金 額	増減率	(平成19年3月期) 金 額
売上高	7,790	7,406	383	5.2	30,104
売上原価	6,340	6,004	336	5.6	24,488
売上総利益	1,449	1,402	47	3.4	5,616
販売費及び一般 管理費	1,164	1,068	96	9.0	4,492
営業利益	285	333	48	14.6	1,123
営業外収益	4	0	3	388.2	3
営業外費用	0	0	0	60.4	3
経常利益	288	334	45	13.6	1,123
特別損失	0	0	0	74.3	37
税金等調整前四半期 (当期)純利益	288	333	45	13.5	1,085
税金費用	123	140	17	12.7	464
四半期(当期)純利益	165	192	27	14.1	620

(3) (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	(参考)前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1 税引前四半期(当期)純利益	288	1,085
2 減価償却費	34	133
3 退職給付引当金の増減額(減少: )	10	26
4 役員退職慰労引当金の増減額(減少: )	2	9
5 賞与引当金の増減額(減少: )	113	49
6 貸倒引当金の増減額(減少: )	0	0
7 受取利息及び受取配当金	0	1
8 支払利息	0	2
9 固定資産除売却損	0	27
10 投資有価証券売却損		2
11 売上債権の増減額(増加: )	15	112
12 未払金・未払費用の増減額(減少: )	77	165
13 未払消費税等の増減額(減少: )	75	101
14 役員賞与の支払額		20
15 その他	14	212
小 計	220	1,478
16 利息及び配当金の受取額	0	1
17 利息の支払額	0	2
18 法人税等の支払額	251	540
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1 定期預金の預入による支出		10
2 有形固定資産の取得による支出	12	93
3 有形固定資産の売却による収入	0	0
4 無形固定資産の取得による支出	7	142
5 投資有価証券の取得による支出	0	0
6 投資有価証券の売却による収入		17
7 その他	4	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	24	234

	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	(参考)前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
1 短期借入金の増加額	100	
2 株式の発行による収入		36
3 自己株式の取得による支出		301
4 配当金の支払額	123	82
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	346
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増加額	80	357
現金及び現金同等物の期首残高	2,523	2,165
現金及び現金同等物の期末残高	2,442	2,523